

新庁舎建設の検討を進めています(3)

市では現在、庁舎建設の検討を進めています。前号に引き続き、「行方市庁舎建設基本構想」の概要につきまして皆様にお知らせいたします。

行方市庁舎建設基本構想

その3

◇新庁舎の位置

新庁舎の位置については、行方郡合併協議会において「新市庁舎については(中略)新市の中央付近に建設することとし、」とされ、また、検討委員会の中間報告では「市の中央付近を庁舎建設の候補地とします。」とされました。

よって、新庁舎の位置としては、「市の中央付近」を建設位置とし、その考え方は「なめがた地域総合病院の位置と市の人口重心の位置との中間点を中心とし直径約3kmの範囲とする。」とします。また、建設時期による情勢等を考慮する観点から具体的な位置に関しては次の選定要件を設けます。

- i 関連計画やまちづくりとの整合性
- ii 交通アクセスの利便性
- iii 早期実現性と経済性
- iv 安全性
- v 法令適合性

◇新庁舎の規模

新庁舎の規模については、前回までお知らせのとおり、必要最低限の建設コストであることが必要である一方、行方市の将来に向けた方向性を反映することも重要で

あることから、必要最低限の建築規模を想定目標としながらも実際の建築で想定されるユニバーサルデザイン化等の必要性を細かに見極め、バランスよく規模の設定を行うことが重要です。必要最低限の規模を次のとおりとし、想定目標とします。(数値は平成27年度想定)

人口規模

人口規模を基準にし、庁内勤務の職員数を算出
【人口36,462人】↓
【庁内勤務職員253人】

庁内職員数等

庁内職員数に対して合併特例債上の建設基準により算出
↓【延べ床面積6,700㎡、建築単価㎡当り165,700円】

合併特例債上の建設基準

合併特例債上の建設基準により算出された事業費を必要最低限の規模とする

必要最低限の規模

実際の建設規模をできる限り必要最低限の規模に近づける

実際の建設規模

次回は
◇現庁舎の利活用◇その他について、お知らせいたします。

企画課(麻生庁舎)

0299-72-0811

第二回庁舎建設委員会を開催しました

9月1日(月)、行方市役所北浦庁舎において「第2回行方市庁舎建設委員会」が開催されました。「これまでの経緯」、「基本計画での検討事項」、「現庁舎の概要」、「現庁舎の問題点と新庁舎の必要性」、「庁舎のあり方についての基礎的検討」について確認・協議を行いました。

- 庁舎の基礎的検討においては、
- ①現在の3庁舎を維持する場合
 - ②現3庁舎を1ヶ所に集約する場合
 - ③新庁舎を建設する場合

の3パターンにおいて、想定される積算経費の比較検討を行い、中長期的な視点での確認がなされました。

今後も引き続き検討を進め、今年度中に市長へ報告を行う予定です。

企画課(麻生庁舎)

0299-72-0811

◇総合防災訓練

9月6日(土)麻生庁舎周辺で消防団・鹿行広域消防本部・行方警察署・麻生地区の住民など関係団体から約800人が参加し、住民への防災啓発、関係機関との連携強化と有事に即応できる体制づくりを目的に第3回行方市総合防災訓練が行われました。

午前9時南関東を震源とする直下型の大地震が発生。麻生地区においても震度6強の揺れを観測したとの想定で実施されました。災害発生から3時間にわたり、初期消火や避難誘導活動、炊き出し訓練、麻生庁舎屋上から県防災ヘリで救助・搬送するなどの訓練が実施されました。



◇長寿と健康を祝う 坂本市長が訪問

敬老事業の一環として、市では高齢者の方々に長寿祝い金を贈りました。

来年3月末までに88歳になられる皆さんが165人、100歳になられる皆さんが9人です。

100歳になられる皆さんには、9月15日「敬老の日」に坂本市長が直接訪問し、長寿をお祝いしました。

現在、101歳以上の方は15人で、男性の最高齢は101歳、女性は103歳です。



100歳を迎える金塚チヨさんと坂本市長

◇100歳を迎えられる方々 (敬称略)

大石 とり (麻生)
榊原 えふ (麻生)
高野 さだ (於下)
宮内 昇 (山田)
金塚 チヨ (井上)
久保田 けい (手賀)
荒張 卓治 (玉造甲)
大曾根 もや (芹沢)
幡谷 信子 (沖洲)

来年1月に100歳を迎える井上の金塚チヨさんは、家の周りの草抜きをしたり、エシャレットの作業を手伝うなどとても元気にすごされているとのことでした。坂本市長から「100歳おめでとうございます」と記念品が渡されると「健康でいられるのは、皆さんののおかげです」と話してくれました。

9月12日、敬老の日を前に、北浦幼稚園年長組の園児たち39名が「特別養護老人ホームきたうら」を訪れ、ホームで開かれた敬老の会に参加しました。ホールに入る園児たちをたくさんのおじいちゃん、おばあちゃんがこやかに迎え入れてくれました。

園児たちは、歌やダンスを披露し、おじいちゃん、おばあちゃんたちと手を取り合って交流をしました。会場からは手拍子があつたり一緒に口ずさむ人もいたりとても喜ばれました。披露した園児たちも大きな拍手をいただき満足そうでした。



◇おじいちゃん・おばあちゃんと交流しました

◇食のあり方を考える



地域食文化の大切さや、地域農業への理解を深めるため、北浦地区女性農業団体「虹の会」(山崎志津子会長)、北浦鉄頭会議(吉田正弘会長)、北浦農業担い手会(塚原亮司会長)の3つの農業団体による食農教育事業が9月9日(火)北浦幼稚園において行われました。

はじめに園児と保護者たちはコスモス畑で花摘みを楽しみ、幼稚園では農業団体のメンバーが用意した流しうどんや地元野菜たっぷり豚汁などを味わっていました。食事の後は、野菜に関するクイズに参加したり、食と農についての講話を聴きました。

◇北浦広葉樹の森下刈り体験



8月23日(土)長野江地区の「北浦広葉樹の森」において、下刈り体験が行われました。平成15年に河津桜の苗が植えられた森をすばらしい森に育てるために下刈りを毎年行っています。今年も地元の武田小・三和小・北浦童太鼓の児童と父兄、関係団体などから約200人が参加。児童たちは、鎌の使い方などの指導を受け桜の木の周辺に伸びた草を刈り取りました。



平成20年度北浦広葉樹の森下刈り体験

◇シクラメンの 植替え教室

8月31日(日) 北浦公民館前において、行方市緑化推進協議会のアドバイザーである井野芳昭さんを講師に迎え、暑い日差しの中、無事に夏を越したシクラメンの植え替えを行いました。

各自持ち寄った鉢を見てもらいながら先生のアドバイスを熱心に聞いていました。その後、植え替え作業の説明を聞き、みなさんひと回り大きな鉢へと植え替えました。作業にあたり「2年目は花が咲かない」「花が小さくなってしまう」など質問があり先生がアドバイスをしていました。

また先生の好意で寄せ植え用に小さいものも用意していただき、冬に向けてまた楽しみがひとつ増えました。



◇「花の観光地づくり大賞 ・奨励賞」に輝く

(社)日本観光協会は、平成20年度「花の観光地づくり大賞」の受賞団体を決定し、行方市井上の「井上・山百合の会(関野とよ子会長)」が「奨励賞・花を育むまちの底力賞」を受賞しました。

受賞した奨励賞・花を育むまちの底力賞は地域住民の地道な取組みに顕著な実績と将来設計を有する団体に贈られるもので、井上・山百合の会会員の皆さんが長年にわたり里山の保全活動を取り組んできたことが認められ今回の受賞となりました。

井上山百合の里では約2ヘクタールの山林に2万本の山ゆりが自生し、今年も7月に開かれた山百合まつりには市内外から沢山の人が訪れました。



今年の山百合まつりの様子

◇レジ袋削減運動 マイバックキャンペーン

9月1日「霞ヶ浦の日」に環境保全行方市民会議と家庭排水浄化推進協議会は「マイバックを利用しゴミの減量化を促進すること地球温暖化を防止しよう」とスパーセイミヤとベイシアの店頭でマイバックキャンペーンを実施しました。今年度はスパーとコンビニの両方で使用できるコンパクト収納タイプを作成し、チャリティーで行いました。マイバックを持参して買い物にきたお客さんにもいましたが、まだまだ普及率は上がりませんが、うかがえます。「さつそく使用して買い物をしてください」と呼びかける家庭排水協委員に買い物客は理解を示していました。なお、チャリティーで集まった42,426円は環境保全・水質浄化運動に有効に活用させていただきます。ありがとうございます。生活大学の皆さんの協力に感謝いたします。



同時に行われた環境保全・水質浄化キャンペーンでラベンダー苗等を配布
セイミヤ麻生店(9/1)

2008 夏の環境保全・水質浄化キャンペーン

主催：環境保全行方市民会議・行方市家庭排水浄化推進協議会



8/23 鹿島アントラーズホームタウンディズ「行方の日」でキャンペーンを温暖化防止委員とともに実施しました。

今年の夏は環境保全・水質浄化キャンペーンがイベント会場で実施されました。参加者には、イベントに参加しながら環境保全意識を高めてもらえる配慮がされていました。霞ヶ浦の水質浄化をテーマとした環境紙芝居の上演は子どもから大人まで幅広く鑑賞していただくことができました。また、イベントの後にゴミ拾いをするなど参加者がそれぞれに充実した内容となったようです。



8/9 サンセットフェスタ In 天王崎で環境紙芝居を鑑賞する参加者

環境フポイント
アドバイス

まずやってみよう環境にやさしい生活・・・(1人1日1kgCO₂削減を目指して)